[熊本 S.J.C.D.例会　抄録]

演 題　　a case that gave prosthetic measures for mandibular incisor tooth crowding

下顎前歯叢生に対して補綴処置で対応した一症例

演者名　　鶴田　善久

日付　　2016 年 1 月 26 日

Keywords

1　3-incisor
2　Diagnostic wax up
3　Crowding

抄録

日常の臨床の場において比較的よく認められる症例として、永久歯列萌出後、特に問題にならなかった下顎の前歯列が、およそ 40 歳を過ぎたころから歯列不正になったと訴えられることがあります。またそのような患者に対して補綴処置を行う場合、同部位の審美的な問題だけではなく、対合する上顎前歯部に対しても様々なトラブルを引き起こす原因にもなります。

今回 58 歳の女性に対して全顎的補綴を行うことになり、下顎前歯部の叢生に対して、矯正を勧めるも断られ、補綴処置のみで対応を試み苦慮した症例を提示します。

このようなケースの場合、どのように対応すればよかったのか、経験豊富な先生方のみならず若い先生方からもご意見を伺い、今後の診療に役立てたいと思います。よろしくお願いします。